

まつさか市議会だより

vol.73  
2019.1.1

# みてんか

マジメで  
面白くない  
報告ですが...



新年あけましておめでとうございます。  
4年目の新年を迎える「みてんか」です。  
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

松阪市議会議員一同



「みてんか」は電子  
ブックやPDFでも  
ご覧いただけます。



11月13日・14日・16日の3日間、市内12会場で議会報告会を開催しました。  
初めて市内の中学校をメイン会場にして開催しましたが、3日間で159人の参加と少し寂しい結果となりました。この結果を踏まえ、今後、広報広聴委員会では会場、内容等、検討を重ねていきます。

# みなさんからの「声」を大切に

## 第11回 議会報告会

開催しました！

開催日	開催場所	参加人数
11月13日 (火)	殿町中学校 多目的教室	22
	久保中学校 図書室	7
	西中学校 図書室	2
	松阪公民館 第1講座室 (松阪ショッピングセンターマーム)	20
11月14日 (水)	鎌田中学校 図書室	11
	東部中学校 図書室	19
	中部中学校 図書室	13
	嬉野中学校 会議室	11
11月16日 (金)	大江中学校 ランチルーム	24
	三雲中学校 図書室	14
	飯南中学校 多目的ホール	7
	飯高中学校 ランチルーム	9
	計	159



▲中部中学校会場

### 主な質疑・応答 参加者の皆さんからいただいたご質問の一部（要約）です。

#### 【住民協議会】

**問** 住民自治のあり方検討会での市の考え、議員の考えは。  
**答** 市は市住民協議会活動推進委員会、市自治会連合会、市民館連絡協議会に対し地域組織を一本化することを提案している。議会はこの3者の整合性が取れるよう市に対して意見書を提出している。

#### 【水道】

**問** 上水道が民間委託になると聞いたことがあるが、議会で議論しているのか。  
**答** まったく議論に上がっていない。

#### 【施設】

**問** スケートパークの構想はいつ頃できたのか。  
**答** 合併以前からの請願があり緊急に出てきたものではない。

#### 【ブロック塀】

**問** ブロック塀の施工業者に責任は発生しないのか。  
**答** 設置費用の一部を補助する制度であり、責任の所在を問うものではないことをご理解いただきたい。

#### 【防災】

**問** 避難所について行政の動きが遅く、協議が進んでいない。なぜなのか。  
**答** 逆に、どこをどう進めていけば良いか、執行部に注文したいことやご提案があればお聞きしたい。

**意見** 児童が横断歩道で立っていても、車が止まらない現状がある。このような車の取締りの強化を願う。

**問** CSとは地域による教育と認識している。郷土愛を育むといった観点からそういった教育を進めてほしい。  
**答** 現在、鎌田中学校が進行中なので、モデルケースとして参考にしてほしい。

**問** 飯高地域から高校へ進学する際、バス通学しているが、バス定期がかなり高額になる。何か方法はないか。  
**答** 地域公共交通やコミュニティ交通の課題もあるが、現状で代替案は難しい。今後、研究していきたい。

※CS・・・コミュニティ・スクールの略

### 第1部

### 第2部 地域の中の学校づくり

**問** 通学路の狭い道路の路側帯にポールを立てたり、危険を促す、道路に立体的に見える絵を描くことができない。

**答** 市の地域安全対策課において安全対策を充実させる要望に変えて考えてもらったらどうか。

**問** 大江中学校は生徒数が15人これからどうなっていくのか。

**答** 現在全校で17人7、少子高齢化が進んでいる。毎年地元協議会にて結論を出していく。

**問** 地区水泳について、教育委員会でガイドラインを示してほしい。

**答** 教育委員会が対応すると述べている。

#### 議会報告会アンケートから

- 準備から開催まで、本当にお疲れ様でした。  
【殿町中会場 50代男性】
- 個人の弁論を述べておられて、聞くに耐えられなかった。開催ありがとうございました。  
【久保中会場 70代以上男性】
- 対話形式が良かったと思います。  
【東部中会場 60代男性】
- 一般参加が少なすぎる。要検討。  
【嬉野中会場 70代以上男性】
- 議会報告会だけでは、つっこんだ意見交換がしにくい。  
【大江中会場 70代以上男性】
- パワーポイントを使ってわかりやすかった。  
【飯南中会場 50代男性】

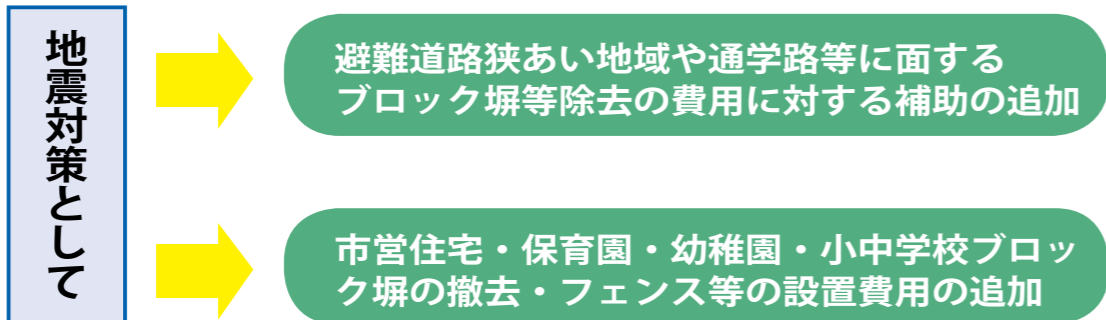
# 一般会計・特別会計補正予算など 27議案を可決・認定・賛成

■会 期：9月4日から10月22日までの49日間

9月定例会では、決算議案の認定に続いて、平成30年度一般会計補正予算(第3号・第4号)も審議の対象となりました。

今年は、7月の台風12号、8月の20号、21号、9月の24号の影響による倒木、停電や水道ポンプへの影響、土砂崩れによる通行止めなどが相次ぎ、いまま日常生活に影響を及ぼしています。この補正予算では台風12、20、21号によるインフラ被害に対する災害復旧費の計上の他、地震対策として公共施設のブロック塀の調査、撤去、フェンス設置等の経費を織り込んでおり、危険ブロック塀等除去事業補助金等について審議しました。

地震が起きた時にブロック塀が倒壊することによって命が脅かされないように、また、避難経路が確保されるように作られた補助金制度で議会は全会一致で賛成しました。



危険ブロック塀等除去事業補助金の中身は。

公衆用道路や避難道路を通行する人の安全を目的に、公衆用道路に面するブロック塀や、子どもたちの安全の観点から学校の敷地に隣接しているブロック塀も対象としている。

※ 平成30年度松阪市一般会計補正予算(第3号)  
危険ブロック塀等除去事業補助金 1,000万円

2018年(平成30年)11月中旬受付開始～2021年12月末まで

対象ブロック塀の高さ	1.2 m以上
補助率	5,000円/㎡
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■津波避難道路狭あい地域(狛師町・町平尾町) 上限15万円/件(30件分)</li> <li>■その他の地域 上限10万円/件(55件分)</li> </ul>



※ 対象内容は、1.2 m以上のブロック塀であることと、公衆用道路に面する塀や学校の敷地に隣接しているブロック塀であること。

請願  
第6号

## 議会として、松阪市に対し、蒸気機関車「くろすけ」の保存活用に責任を持って臨んでいただくこと等を求める請願書



▲中部台運動公園内の蒸気機関車「くろすけ」

◆請 願 者 保存活用グループ「くーべる」  
代表 杉山 牧夫他4名

◆請願内容

- ① 補正予算の可否に関わらず、蒸気機関車「くろすけ」保管施設の残存躯体の現状および安全性、屋根の復元の可否について調査していただくことを求める。
- ② 議会として、松阪市に対し、蒸気機関車「くろすけ」の保存活用に責任を持って臨むよう求めていただくことを求める。

10月9日 本会議にて、上程。紹介議員の補足説明の後、質疑が行われ、文教経済委員会に付託されました。

10月10日 付託された文教経済委員会では、請願者への質疑が行われたが、閉会中の継続審査の動議が提出され、採択の結果、挙手多数で閉会中の継続審査となりました。

閉会中の継続審査動議

これまでの審査の中で「くろすけ」本体にアスベストが含まれていることの議論があり、あらゆる安全面を考慮した場合、執行部側の調査結果を聞いたうえでの判断が望ましいとしました。

10月22日 本会議では、委員長報告の後、閉会中の継続審査についての、採決が行われ、賛成多数で閉会中の継続審査となりました。

継続審査に

賛成 23  
反対 4

継続  
審査

採決の結果、委員会の審査通り挙手多数で「閉会中の継続審査」と決定しました。

その後、11月2日、文教経済委員会が閉会中の継続審査による現地視察を行い、執行部からの説明を受けました。

■ 閉会中の継続審査とは

本会議ではなく、委員会のみ適用されるもので、特定の会期中に議了できない理由があって、次の会期までの閉会中(定例会と定例会の間の期間)に引き続き審査を行うというもの。



# 平成 29 年度決算の審議のスケジュール

# 決算 審査

9月定例会の前半は決算審議が行われ、一般会計と、8つの特別会計及び水道、下水道、市民病院の3つの企業会計の平成 29 年度決算認定が主な議題でした。

9月 4 日に議案上程を行い、議長、監査委員を除く 26 人で決算調査特別委員会を構成し、7 日に本会議での質疑、10 日に総務企画、11 日に環境福祉、13 日に建設水道、14 日に文教経済の4つの分科会をそれぞれ行いました。21 日に決算調査特別委員会で分科会長報告、討論、採決、26 日の本会議で認定、不認定の採決を行いました。

## 決算審議の流れ



## 総務企画分科会

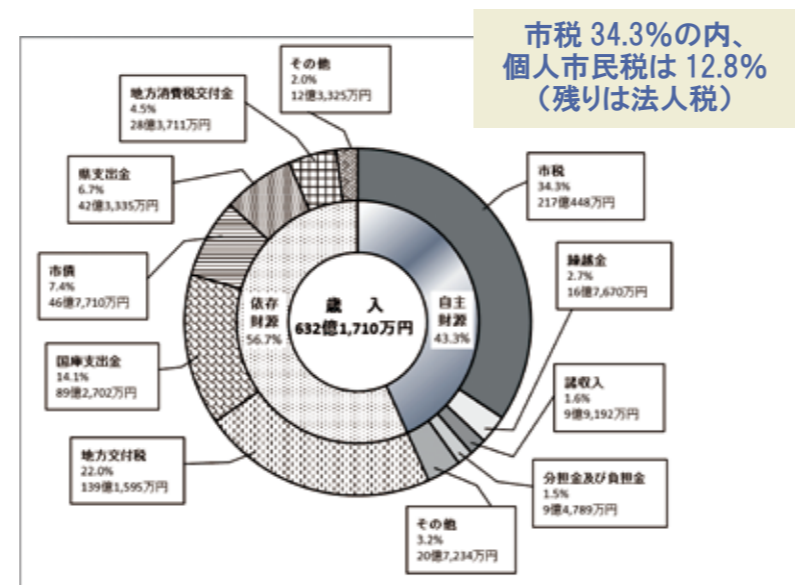
平成 29 年度一般会計の実質単年度収支は 4 億 5,672 万円の黒字。前年度に比べ 2 億 8,713 万円の減となりました。

### ●一般会計歳入について

- Q** 歳入の 12.8% を占める個人市民税について収入済額に対する分析は。
- A** 有効求人倍率の上昇、失業率の改善などの雇用環境の改善や緩やかな景気回復により約 8 割を占める給与所得者の給与所得が改善したものの、ふるさと納税等による寄附金税額控除が増えたことにより大幅な伸びにはならなかった。
- Q** 景気回復、雇用環境回復に関して、どの指標をもって分析しているのか。
- A** 経済見通しや中部経済産業局が発表する当地域の景気の動向等や人事院勧告、所得の伸びや求人倍率、失業率などを参考に総合的に判断、分析をしている。

**意見** 景気判断は非常に難しいし、どの指標を用いるかでも変わるので、景気判断は慎重に。

### 平成 29 年度一般会計 歳入



### ●住民協議会について

- Q** 市内 43 の住民協議会が、活動を続けているが、活動交付金を増やしてほしいという要望は。
- A** 地域から増額要望も聞いている。市の「住民自治のあり方検討会」で地域が抱える課題、方向性について協議を行っており、住民協議会活動交付金も含め今後検討する。
- Q** その「住民自治のあり方検討会」の活動状況、行政から住民協議会に提案した内容は。
- A** 検討会は 3 回開催した。その内容は地域が携わる業務の見直し、地域予算の統合、地区公民館・地区市民センターの地域委託を示した。



## ●地域自殺対策強化事業

- Q** 効果の検討は行っているのか。  
**A** 12課が横断的に連携して対策を検討している。今後も相談窓口の一覧の周知とワンストップの合同相談会の開催を考えている。
- Q** 目標数がゼロでなく26人としているようでは本気度は見えない。市民の命を助ける心意気を見せてほしい。  
**A** 12課それぞれの自殺対策が、もう少し前面に出てきてもよいのではないか。人権・男女共同参画課だけでなく、他のすべての課に対策を練ってもらふ必要がある。



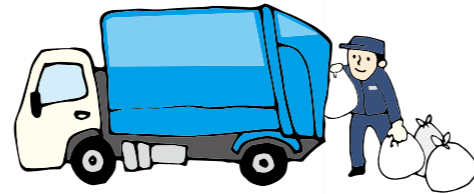
## ●塵芥収集事業

- Q** 減量目標に向けて分析は。  
**A** 総ごみ量の9割を占める『燃えるごみ』の中には資源物として出せる紙くずが含まれていること、水分を含む生ごみの減量化という2点に注目する必要がある。
- Q** ごみ処理の費用とごみ削減による効果は。  
**A** ごみの量が減ることでのどの費用が減るかという検証が必要である。

市民1人  
1日当たりのごみ排出量

松阪市 904g

小金井市（東京都）  
623g



※人口10万～50万人の自治体の中で

全国で最も少ない

## ●松阪市民病院事業会計繰出金

- Q** 結果として、松阪地域の医療体制の議論は一切なく、市民病院のあり方しか考えず、1,400万円を超える繰出金は、所期の目的を達成できなかったのではないか。  
**A** 地域医療のことには触れざるを得ず、多少なりとも議論を行い、支援業者は委託業務をきちんと遂行した。一定の結論を導き出せなかったのは、それだけ難しい問題であったからである。
- Q** 在り方検討委員会で十分議論できなかった部分について、庁内プロジェクトチームと支援業者は、どのようにフォローアップしたのか。  
**A** プロジェクトチームは、在り方検討委員会の足らざる部分を補うには至らなかったのが実情。支援業者も在り方検討委員会の進み方に左右され、業務も偏らざるを得なかった。
- Q** 1,400万円を超える委託料は適正だったのか。  
**A** 支援業者への1,400万円の支出は適正だった。



## ●生活困窮者自立相談支援事業等

- Q** 継続相談が40%増ということは、問題が解決しなかったということか。  
**A** 就労につなげばとか良い福祉的なサービスにつなげば良いという単発的な問題だけではなく、長期的、継続的なかわりが必要な人がたくさんいる状況である。
- Q** 家庭児童相談事業による相談件数が53件にも上っているが市の対策は。  
**A** 身体的虐待、性的虐待、ネグレクトや心理的虐待であり、市として子ども支援課が中心となり要保護児童対策地域協議会「Mキャップ」を設立し、その中で早期発見、早期対応に取り組んでいる。



## ●国道 42 号線松阪多気バイパス関連整備事業

**Q** 一般国道 4 2 号線松阪多気バイパス整備促進期成同盟会費の内容と成果は。

**A** 平成 30 年 3 月 18 日に開通を記念して行ったイベント経費で、地元・松阪市は整備促進のための経費や開通記念イベントの経費で当日は、2,000 人の来場者でにぎわい、大成功であった。

**Q** 一般国道 4 2 号松阪多気バイパス整備の効果は。

**A** 12 時間に 1,000 台の交通量が増加、現道の 42 号は 500 台減るなど、渋滞緩和が図られた。



松阪多気バイパス整備により環状機能が強化される



交通が国道42号に集中

松阪多気BP、国道42号、松阪第二環状線へ交通が分散

## ●道路維持修繕事業

**Q** 道路の補修など、それぞれの地域の自治会から修繕等の要望件数と実施件数は。

**A** 604 件の要望に対し、実施数は 370 件で、率にして 61%。経年劣化による路面のくぼみの修繕や道路の舗装と、高齢化による水路の清掃および除草作業に対する要望が多かった。

**意見** 除草作業というものはイタチごっこになる。工事段階で、構造物のすき間から草が出ないように丁寧な施工や除草対策を講じた施工をして、無駄な財源を使わないような取り組みに努めてほしい。

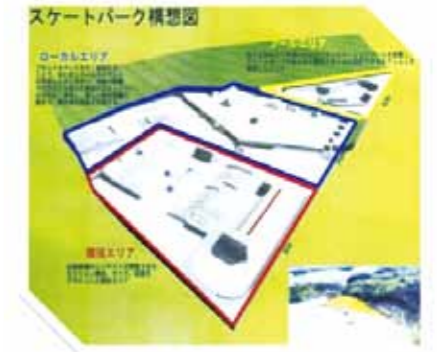


## ●総合運動公園建設事業

**Q** スケートパーク整備の実績と設計の特徴は。

**A** 愛好家と委託先のコンサルタントが、施設の模型の作成や、現地確認など、10 回ほど協議を重ね、市と日本スケートボード協会は 2 回、同協会とコンサルタントとは 10 回ほど協議し、基本設計と実施設計につなげた。設計について、競技エリア、ローカルエリア、プールエリアの 3 つのエリアを設け、初心者から競技者まで幅広い層が利用できるようなコース設定とした。

**意見** 2020 年東京オリンピックの種目となり、非常に関心も高まっているので、施設整備には細心の注意を払い、全国に自慢できるような施設にしてほしい。



## ●浸水対策事業

**Q** 浸水対策事業費の実績と効果は。

**A** 市では、平成 27 年度から駅部田町、久保町、上川町の 3 地区の排水路整備を行っており、今回の決算年度の 29 年度で完成させたということで、今年の夏から秋にかけて襲来した台風では浸水はなく、一定の効果が確認された。「総合雨水対策 10 年戦略事業」は、6 カ所で事業を実施した。



## ●新たな学びの創造事業

※「新たな学びの創造」とは、タブレット端末などのICT機器を活用した教育のこと。

**Q** ICT機器導入により教師の負担は軽減したのか。紙の経費削減につながったか。

**A** ICT支援要員を配置することで教師の負担軽減に努めている現場によって、タブレットを使用して打ち合わせをするなどし、ペーパーレス化につなげている。

**意見** 紙の削減と、勤務時間の削減の検証をすべきである。



## ●いじめ等対策事業

**Q** いじめ問題に絞ったアンケート調査の結果はどうだったのか。

**A** 学期ごとに1回アンケートを実施することで、いじめの早期発見につながっている。

**Q** 学級満足度尺度調査の結果について、全国平均が39%だったのに対し、当市は66.2%と高い数値が出たが。

**A** 現状の結果に満足せずこの取り組みを継続していきたい。

**Q** その一方でなぜ不登校が増えているのか。

**A** 家庭にかかわる要因が多くを占め、中学校では友人関係、学業の不振などが加わっているとの見方を示し、引き続き家庭と連携し指導等の充実を図っていく。



## ●放課後児童クラブ活動事業

放課後児童クラブの所管は、この決算年度である平成29年度に、健康福祉部から教育委員会に移管されてきたばかりです。

利用する児童は今後も増えてくることが予想され、施設整備や指導員の確保など放課後児童クラブに対する行政としての支援のあり方をめぐって課題は山積している中で審査となりました。



**Q** 今回の決算審査では、翌年度の利用人数を把握するための方法は。

**A** 毎年11月の就学児童の健康診断と、2月の一日入学時に調査、把握している。

**意見** さらに早期の段階での調査をお願いしたい。

## ●児童生徒安全対策支援事業

**Q** 小学校の新入学児童にヘルメットを贈るところと、黄色の帽子を贈るところがあるが、なぜか。

**A** 平成17年の市合併以前は、旧町は全児童にヘルメットを、旧市は黄色安全帽という違いがあった名残で、合併協議の際、PTAとともに協議し、いずれかを選択した。それ以降、毎年6月に各学校の意向を聞き、選択してもらっている。現在はヘルメット17校、黄色安全帽19校となっている。



平成30年  
9月定例会



# 議決結果一覧表

全会一致で認定、可決、賛成、選任、採択された案件

議案番号	案 件
議案第97号	平成29年度松阪市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
議案第99号	平成29年度松阪市公共下水道事業決算の認定について
議案第100号	平成29年度松阪市松阪市民病院事業決算の認定について
議案第101号	松阪市手数料条例の一部改正について
議案第102号	平成30年度松阪市一般会計補正予算（第3号）
議案第103号	平成30年度松阪市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
議案第104号	平成30年度松阪市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
議案第105号	松阪市委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
議案第107号	工事請負契約の締結について（宮町ポンプ場施設長寿命化事業宮町ポンプ場改修（No.2ポンプ設備）工事）
議案第108号	財産の取得について（松阪市総合運動公園用地）
議案第109号	市道路線の認定について
議案第110号	市道路線の変更について
議案第111号	平成30年度松阪市一般会計補正予算（第4号）
議案第112号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第113号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第114号	人権擁護委員候補者の推薦について
発議第14号	松阪市議会特別委員会の設置について
選挙第13号	松阪市議会特別委員会の委員選任について
選挙第14号	松阪市議会議会運営委員会の委員（補充）選任について

## 表決が分かれた案件

議案番号	案 件	審議結果
議案第96号	平成29年度松阪市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数 認定
議案第98号	平成29年度松阪市水道事業決算の認定について	賛成多数 認定
議案第106号	工事請負契約の締結について（松阪市立春日保育園園舎改築工事（建築））	賛成多数 可決
発議第16号	義務教育費国庫負担制度の存続とさらなる充実を求める意見書について	賛成多数 可決
発議第17号	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書について	賛成多数 可決
発議第18号	子供の貧困対策の推進と就学・修学支援にかかわる制度の拡充を求める意見書について	賛成多数 可決
発議第19号	防災対策の見直しを初めとした総合的な学校安全対策の充実を求める意見書について	賛成多数 可決
請願第2号	義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める請願書	賛成多数 採択
請願第3号	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願書	賛成多数 採択
請願第4号	子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める請願書	賛成多数 採択
請願第5号	防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実を求める請願書	賛成多数 採択
請願第6号	議会として、松阪市に対し、蒸気機関車「くろすけ」の保存活用に責任を持って臨んでいただくこと等を求める請願書	賛成多数 継続審査

議員名 議案番号	真 政 ク ラ ブ							松 政 会				公 明 党			日 本 共 産 党		市 民 ク ラ ブ		無 所 属 の 会 員		会 派 に 所 属 し な い 議 員							
	赤塚かおり	坂口秀夫	植松泰之	堀端脩	野呂一男	中村良子	山本芳敬	大平勇	中村誠	松本一孝	谷口聖	市野幸男	米倉芳周	松岡恒雄	山本節	西村友志	殿村峰代	栗谷建一郎	久松倫生	橋本大介	楠谷さゆり	中島清晴	田中正浩	西口真理	海住恒幸	深田龍	沖和哉	濱口高志
議案第96号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第98号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第106号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第16号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第17号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第18号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第19号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第3号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第6号 (継続審査)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×

議長 中島清晴は採決に加わりません。 ○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員



# 一般質問

10月2日・4日・9日に15人の議員が市長に対し、市の一般事務の執行状況や、将来に対する方針などについて、ひとりあたり50分（答弁時間含む）の時間制限の中で質問しました。

一般質問のページの原稿は、本会議での発言を要約し、議員自身が作成したものをそのまま掲載しています。

## 平成30年9月 第4回定例会一般質問通告表

とき	登壇者（質問順）
10月2日 （火）	①殿村 峰代 ②栗谷建一郎 ③久松 倫生 ④海住 恒幸 ⑤深田 龍 ⑥野呂 一男
10月4日 （木）	①中村 良子 ②楠谷さゆり ③米倉 芳周 ④山本 節 ⑤松岡 恒雄 ⑥濱口 高志
10月9日 （火）	①橋 大介 ②赤塚かおり ③中村 誠

質問時間は、1人50分。（答弁時間を含む）  
◎統括、一問一答、分割のいずれかを選択して行います。



※QRコードからは、各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。（別途通信料が発生します）

日本共産党  
とのむら みねよ  
殿村 峰代 議員



### 障がい児療育保育士の雇用・配置

- Q 平成29年度そだちの丘の利用実績で目標値に1,500人も足りなかった原因が、保育士の人員確保難からとのこと。  
現職員の人員と経営評価委員からの答申に対しての分析・対応は。
- A 保育士は正規2人（うち1人産休）、非常勤8人。障がい児の保育療養は専門性が必要。不採算な部分は公立の我々が担うべき。質の高い保育を各園でもきちんと提供していく。提言を真摯に受け止め、将来にわたって持続可能な組織運営にしていくためにも計画的な職員採用に努めたい。

### 福祉避難所設置運営協定締結後の災害対策

- Q 災害時、自ら避難が困難で支援を要する避難行動要支援者は何人で、福祉避難所の受け入れは何人か。また家族の同伴避難は。
- A 対象者は4,000人。家族も想定。協定での受け入れ予定人数は138人。
- Q 家族を含むと少なくとも8,000人を収容できる福祉避難所の機材調達や避難検討に有識者からの意見を聴く機会を設けているか。
- A 有識者を含め9月20日津波避難検討会議を開催。津波避難困難地区、西黒部・かきさき地区をモデル的に支援体制の構築を進めている。人的被害ゼロを目指したい。  
意見 松阪市内にある福祉用具事業者との連携も考えていただきたい。

日本共産党  
くりたにけんいちろう  
栗谷建一郎 議員



### 自然開発と再生エネルギーの開発

- Q 再生可能エネルギーは今後一層推進することが求められている。しかし、大規模な風力発電施設、あるいは太陽光発電施設などの導入で、環境破壊や土砂災害に懸念もあり、他の市町は独自に開発を把握、必要な抑制をしようと努力している。  
松阪市でも独自の条例の制定が必要ではないか。
- A 条例の制定に関して、研究をしている。松阪市は産業奨励という中で、太陽光発電には非常に慎重な姿勢をとっている。  
この施設の問題というのは、地域の理解、地域にきちんと周知をしていただくことをきちんと事業者側に、我々も把握し申し入れるということが大事。直ちに条例策定というところではないが、行政として申すべきところを申す。

### 住宅リフォーム助成

- Q 今回新しい商店リフォーム助成制度が作られて大変喜ばれている。今後南海トラフのいろんな災害もあり、ますます住宅リフォームの需要が広がってくる。また、中小の建設業者や市内の業者に仕事を広げてまちの活性化につながり、住宅リフォームの助成をやっていただきたい。
- A 個人財産を形成するのに税金投入はしない。居宅介護住宅や耐震補強への補助など、目的を持った補助をするべきと考える。

日本共産党  
ひさまつ みちお  
久松 倫生 議員



### 地域改善対策の終結

- Q 現在進められている行政課題の中で、地域改善対策と深い関連を持っているものがある。公共施設マネジメントの計画、住宅行政にかかわる問題、公共下水道の起債償還額の一部補助金、こうした事務的な制度が残っている。  
行政運営の中で過去のことで知らなくていいのかが、整理してきちっと押さえておくべきなのか。
- A 事業の整理に当たっては、事業の背景、経過を押さえ対応していく必要がある。
- Q 特別措置は終了し、残事業は一般対策でということになってはいた。ただ一般化でできるのかどうか。
- A 一般対策としつつ、個々具体的な案件は、現在のニーズ、将来の影響等を十分考慮して各所管課が対応していく。

### 図書館リニューアルの成果と課題

- Q 新しい図書館は議会の頑張りでやり切れたという自負は持っている。どのように評価されているか。
- A 基本理念に沿う市民に愛される図書館ができたのではないかと評価している。
- Q 今後の予算措置を着実に進めていただきたい。
- A 登録者数を68,000人に、蔵書を51万冊になる計画を、その達成のためにしていきたい。



無所属の会・みらい

かいじゆう つねゆき  
海住 恒幸 議員



会派に所属しない議員

ふかた りゅう  
深田 龍 議員



真政クラブ

のろ かずお  
野呂 一男 議員



真政クラブ

なかむら よしこ  
中村 良子 議員



## 風力発電計画への市長意見

- Q 白猪山の風力発電計画で環境影響評価(アセス)法による最終の市長意見が1月に知事に提出されるが、住民の意見を聴取しないのか。
- A 直接聴取する場は考えていない。
- Q 法に基づくアセスには土砂災害は含まれないから業者は土砂災害リスクを調べていない。本来市民が求める環境影響評価になってない。市が独自にできることをなぜしないのか。
- A 三重県の林地開発許可という部分では土砂災害リスクも審査されると思う。
- Q 前回(平成29年)の市長意見の中に、「土砂災害のリスクに関係する可能性があることを十分に認識し適切かつ最大限の対策を行い、災害発生への影響を回避すること」と書いてあるが、事業者はそのへんの調査はしていない。このようなことを事業者責任で可能か。
- A 対策工法を地域に示さないと同意は得られないと思う。
- Q 柚原町と上小川に計画されているもう一つの計画に市有林はないが、住民同意がない限り風力発電は認めないという考え方を普遍化できるか。
- A 首長が事業に反対という立場をとるのに県が林地開発の許可をおろせるか。そういった意味から市有地の有無にかかわらず地元住民の同意があるかどうかは一番のポイント。

## 放課後児童クラブの人材不足への提案

- Q 夏休みなど学校の長い休みの間は仕事がない第三種の非常勤職員(学校生活アシスタントや幼稚園のアシスタント等)の方々に放課後児童クラブの求人を教育委員会から紹介しただけなのか。
- A 学校と放課後児童クラブで指導する上で必要な情報が共有されているかという課題もあり、学校生活アシスタント等が指導するというのは大きな成果があると思う。前向きに検討したい。

## 高齢者健康対策

- Q 一定のルールづくりや制度づくりをする中で他人のごみを持ってクリーンセンターで処理できる生活環境を考えていくべきだと考えるが、いかがか。
- A 集積所へごみを出す場合は近所、地域の支え合いという形でいける。クリーンセンターについては、法律の縛りがあるが、高齢者の方々の事情を察し、中間に立って連携をとり制度づくりの中で運ぶ込める仕組みをひとつつくりたい。

## 社会生活の基盤となる企業誘致

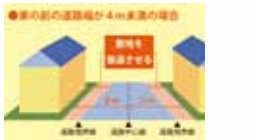
- Q 平成29年度の活動実績と、今回の調査結果を踏まえ、今後の取り組みは。
- A 活動実績として音響・事務・通信を中心とした設計開発事業、(株)ライジング(大阪本社)の誘致決定。今後の取り組みとして産業用敷地整備計画の策定を予定、また、外からの企業誘致戦略、市内企業を留め置く戦略、継続的な取り組み方向や立地環境整備の基本方針を示していく予定である。

## 小中学校の校外学習

- Q 校外学習の目的と学習内容は。
- A 目的として、集団の一員としてよりよい生活、人間関係を築こうとする自主的な態度を育てること。学習内容として、教室だけの学習ではなく、発達段階に応じて地域での体験を学習に効果的につなげる内容となっている。
- Q 松阪市の中学校1校がキャリア教育の一環として自分たちのまちを実感するために市の企業10社を見学した。松阪市の将来を担う児童生徒に、このような校外学習は必要と考えるが、教育長の見解は。
- A 教育委員会として企業と貴重な出会いを通じて地域の良さに築き、誇りを持った市の将来を担う子どもたちの育成を図る意味で「キャリア教育」の更なる充実を図っていく考えである。

## 狭あい道路整備

- Q 社会資本交付金事業のもと、桑名市、四日市市、津市などでは、4m未満の道路を広げ、生活道路改善目的とし、セトバック費用など助成されている。松阪市では交通事故も多く、一方通行もあり、対向できない道路が多い中、なぜ今まで取り組まれなかったのか。
- A 平成20年度から電子台帳システムを構築、市内200キロの建築基準法第42条第2項道路と都市計画区域内道路の基礎調査をし、指定道路図整備をほぼ完了、平成28年度の周知期間を経て、7月より公表。各部門との協議に時間を要している。具体的に事業として行える検討している。



## 道路通報アプリ

- Q 道路の破損状況など道路通報アプリによりメールでいただいた情報をその日のうちに、工事部門に伝達できる方法を相模原市で聞いた。松阪市職員は、書類の山をめぐり、現場対応、市民対応、自治会対応している。事務時間の縮小、ペーパーレス化、破損箇所の早期対応となる。どうか。
- A 松阪市情報化推進計画2018の中、自治体情報総合アプリの導入を使いやすい行政情報の発信と位置付け、それぞれの機能が市民の方々に役立つか議論している。できる分野からなるべく早い時期に導入を進めていきたい。



市民クラブ

くすたに  
楠谷さゆり 議員



松政会

よねくら よしちか  
米倉 芳周 議員



公明党

やまもと たかし  
山本 節 議員



公明党

まつおか つねお  
松岡 恒雄 議員



## 多文化共生社会に向けた 松阪市の取り組みを問う

- Q 平成19年の松阪市国際化推進計画があるが、取り組みの現状は。
- A 外国人が生活する上で必要となる情報の提供に努め、情報が確実に伝わるよう、また生活しやすい環境作りを行うため、各課がそれぞれの役割を果たしつつ、取り組んできた。
- Q 日本語教室というのはいかがお考えか。
- A 今後も現状通り公益財団法人三重県国際交流財団を通じて、民間を紹介する。
- Q 市民病院では、どういった対応か。
- A 1階に患者相談支援窓口を設置。看護師の知識、医学用語マニュアル、翻訳アプリなどを活用。対応が難しい場合には市の通訳者の派遣をお願いしている。
- Q 防災に関してはどのような対応か。
- A 外国語のパンフレットを5カ国語で作成した。また、外国人向けの出前講座等の開催に向けて協議を進めたい。
- Q 「やさしい日本語」を取り入れては。
- A 研修を開催したし、引き続き行う。

## 松阪市のフルマラソンについて問う

- Q 国体のイベントとは。
- A それぞれの大きな大会の開催PRとして相乗効果、三重県内の企業への協賛依頼により支援の可能性が期待される。
- Q ランナーには失礼ではないか。
- A 市民あるいは全国に発信できる好機。

## 小学校の司書派遣

- Q 現在の小学校の司書派遣が月1回では何もできないという声があるが。
- A 各学校でノウハウが蓄積されており、かつ学校図書館と市図書館が同一の委託者で構成されまた、司書教諭が配置されている。松阪市は恵まれた環境がある。派遣数や人数を多くすることも必要なことと認識しているが、今までのものを更に活用しながら、地域との協力を頂き進める。
- 意見 確かに回数だけではないが、されど回数である。緻密な派遣を強く要望する。

## 小学校のプール授業

- Q 「松阪市立小学校プールの在り方検討会答申書」に沿っての現在の行動と展開は。
- A 老朽化等によりプール利用の継続が困難な場合、まず民間プールの利用を検討。続いて近隣のプールを集約するセンター方式の実施を検討。それが困難な場合、最終的に改修、改築という答申で検討。モデルとして平成30年度、第一小学校で民間プール施設で水泳授業を行った。
- Q 逆ではないか。まず、修繕、改築を考え、センター化、その後、最終的に民間委託ではないのか。ジュニアスイミングは4校しかなくキャパから難しいのでは。
- A 課題として民間施設のキャパはある。工夫しながら、結果的に改修もあるが、答申に沿った考えで整理していく。

## SDGs を市政にどう生かすか

- Q SDGsとは、誰一人取り残さない持続可能な世界の達成を目指す国際目標でありSDGsの認識と松阪市総合計画など、市政にこの考え方をどう取り入れるのか。
- A 経済・社会・環境に係わる広範な課題に対し、市民・企業・行政などすべての関係者が総合的に取り組み推進して行くもの。次期総合計画策定に先進事例も含め研究したい。



▲ SDGs17項目

## 人道的見地から避難所での スフィア基準の遵守

- Q スフィア基準では生命保護の不可欠な4要素として①給水・衛生・衛生促進②食料の確保と栄養③シェルター・居住地④保健活動の最低基準が挙げられている。今回はトイレ事情に限定するが、避難所のトイレの設置数、男女比。衛生面における排泄物の保管場所などを事前に取り決め、実際の避難所地図に落とし込みすべきでは。犯罪防止、衛生や健康管理におけるスフィア基準からの対応。また感染症対策や消毒・汚物回収における民間との協定はいかに。
- A トイレ設置数は基準に見合った数の整備は難しい。避難所の実際の平面図への落とし込み提案についてはモデル地区とし、他の地区へも取り組み支援したい。

その他の  
質問事項

- 学校現場における業務改善への取り組みについて

## 災害時の対応 ～篠田山霊苑内の墓石～

- Q 熊本地震や本年9月の北海道胆振東部地震など巨大地震が相次いで発生している。災害時に所有者の同意を得なくても墓石を移動できる条例の改正を検討すべきと考えるが、見解は。
- A 大規模災害時に被災した墓石への対応については、墓地条例第10条に規定している必要な措置の命令および使用権の代行により対応していくことを想定している。今後他市の状況も踏まえ、調査・研究していきたい。
- 意見 市民の安心のために、条例の改正の検討をしていただきたい。

## 小児がん「<sup>もうまくがさいぼうしゅ</sup>網膜芽細胞腫」の 早期発見

- Q 目の網膜のがんを網膜芽細胞腫という。白色瞳孔や斜視の症状があらわれるが、乳幼児健診でチェックできれば早期発見につながる。乳幼児健診の医師健診アンケートの目の項目に白色瞳孔を追加すべきと考えるが、見解は。
- A スクリーニングとして乳幼児健診時、目の異常がないか医師がチェックし、問診項目や診察所見に目の異常の記入欄がある。
- 白色瞳孔の追加については、小児科医の意見も聞きながら研究していきたい。

その他の  
質問事項

- 災害時に活動する公用車のトラブル
- 体育館の床板の剥離による負傷事故防止



会派に所属  
しない議員



はまぐち たかし  
濱口 高志 議員




市民クラブ



たちばな だいすけ  
橋 大介 議員




真政クラブ



あかつか  
赤塚かおり 議員




松政会



なかむら まこと  
中村 誠 議員



### 嬉野・三雲振興局での 確定申告復活を！

- Q 本年2月に質問したが、その後の検討はどうなったのか。
- A 職員は複数業務を兼務しており、税務の応援体制が組みにくい。
- 意見 商工会議所での業務が増え、順番が回ってこないとの苦情を聞く。今後、対応できる形を検討いただきたい。

### 三雲公民館の台風被害に どう対応するのか

- Q 台風21号で、防水シート、鉄板が飛散した。24号では天井が落ち、講座に使用できない。どのように対応するのか。
- A 近隣住民に迷惑がかからないよう最小限の修繕を行う。サークルには三雲地域振興局の2階の部屋等を使っていただく。
- Q この施設は老朽化が進んでいる。建替え等、恒久的にはどうするのか。
- A スピード感を持って対応していきたい。



▲天井の落ちた三雲公民館

その他の質問事項  
・小中学生の自転車の乗り方について

### 禁止項目の少ない公園 プレーパークの導入を！

- Q 最近の公園は禁止項目が増え、利用しにくいケースがある。市の見解は。
- A 松阪市都市公園条例第4条、行為の禁止によって定められおり、公園を損傷させる行為、竹木その他植物損傷、鳥獣類もしくは魚類の捕獲、たき火等について禁止している。
- Q 日本全国的に、場所によっては公園の施設が使えないところもある。松阪市においても球技ができない場所がある。鈴の森公園が現状、芝生に入れられない状況があるが、どうしてか。
- A 背丈7センチ程度で夏に2ミリ程度の小さなトゲがある種を实らせ、肌を刺すキク科の南アメリカ原産の外来植物メリケントキンソウが繁殖しており、看板を設置し、注意喚起をしている。
- Q メリケントキンソウの除去対策は。
- A 種が実る季節に合わせて芝刈り作業を行い対応している。
- Q 公園で遊ぶことは子供の感受性を育てると思っている。プレーパークという形がある。市の見解は。
- A プレーパークに関しては研究課題の一つと捉えていきたい。

**プレーパーク**  
どのような遊びでも自由にできるように、一切の禁止事項をなくした子供の遊び場。

用語解説

### 熱中症対策になるクールシェアで コミュニケーションを

- Q クールシェア「松阪まちなか避暑地キャンペーン」の取り組みとは。
- A 市民が夏場の暑い時間帯に、公共施設や商業施設を利用する取り組み。節電や利用者拡大による活性化を期待する。
- Q 熱中症対策には公園の木陰など休憩することも必要。鈴の森公園で人気の噴水周辺に日陰や休憩できるスペースは。
- A 噴水の北側50mと、約130m離れた所に東屋がある。
- Q 熱中症対策にベンチとパーゴラの設置を。防災用を整備すれば、憩いの場である公園を、防災公園として利用できると思うが、また、近隣の施設を着替えに利用できないか。
- A 松阪市としても非常にいい施設、これから研究をしていきたい。



### 災害時の学校機能 早期再開が子どもたちに必要

- Q 避難所運営マニュアルで利用できない教室の明記を。また、HUG訓練も利用できない教室を考えて取り組むべき。
- A マニュアル改定時には考慮していく。
- Q 教育再開後の児童生徒の心のケアは。
- A チーム学校として対応できる体制を構築していく。
- 意見 地域の避難訓練で助け合うことの大切さを知り、地域福祉活動の担い手に成長することを望む。

### 災害発生時の情報伝達

- Q 市民への情報提供の方法が今現在どういうものがあるか。
- A ホームページとフェイスブック、行政チャンネル等で広報している。
- Q タイムリーに情報収集や伝達をするために、消防無線的なしっかりとした出力の物を区長等に渡す工夫ができないか。
- A 災害時の情報の共有化というところですが、緊急時、停電であり、なおかつ孤立した集落で停電、倒木等いろんなことで復旧も見込めない地域、そこには区長中心で衛星携帯電話を渡して、情報のやり取りをしたところもある。それと同時に職員間で随時連絡を取り合うような携帯用の無線機も今後は必要ということで順次配備を進めていきたい。

### 災害時における ペット連れの避難者対応

- Q 松阪市でペットを実際に連れて訓練は行ったか。
- A 実働的なペット訓練は現在までには行っていない。
- Q 松阪市においてペットと一緒にできる避難所を設置し、しっかりと訓練もやっていただけるのか。
- A 避難所運営マニュアルにペットの同行避難という項目もある、改訂時にはしっかりと反映をしていきたい。

# 平成31年第1回2月定例会の開催日程 35日間

日	月	火	水	木	金	土
2月10日	11	12 議会運営 委員会	13	14 予算説明会	15 予算説明会	16
17	18	19 本会議 (当初上程)	20	21	22	23
24	25	26 本会議 (代表質問)	27	28 本会議 (代表質問)	3月1日	2
3	4 本会議 (代表質問)	5	6 本会議 (代表質問) (補正上程)	7	8 本会議 (代表質問)	9
10	11 本会議 (議案質疑)	12 委員会 (環境福祉) (文教経済)	13 委員会 (予備日)	14 委員会 (総務企画) (建設水道)	15 委員会 (予備日)	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25 本会議 (当初・ 補正議決)	26	27	28	29	30



## 松阪市議会のトリセツが完成しました！！ ～花ちゃんと一緒に学ぼう～

小学校高学年にも市議会に関心を持って、理解してもらえるように、普段の生活と議会が関わっていることを表す物語と議会運営や議会活動に関する状況などをわかりやすく掲載し、松阪市議会のトリセツが完成しました。広報まつさか11月号と同時に、各ご家庭に配布させていただきました。



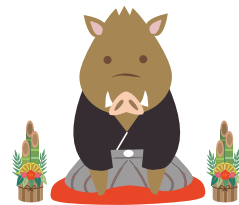
### 広報広聴委員



▲豪商ポケットパーク（本町）にて  
《左から》 松本一孝、橘大介、赤塚かおり、殿村峰代  
松岡恒雄（委員長）、堀端脩（副委員長）  
海住恒幸、中島清晴

### 編集後記

新年明けましておめでとうございます。今年の干支は猪（亥・いのしし）。猪の肉は、万病を防ぐと言われ、無病息災の象徴とされています。「猪突猛進」、目標に向かってまっしぐらに突進していく勢いのある年を目指して、「みてんか」第73号をお届けします。「みてんか」となり迎える新年も4回を数えました。春には新しい元号が公表されますが、これからも、皆さんに身近に感じていただき親しまれ、わかりやすい紙面作りに取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願いたします。



広報広聴委員会 委員長 松岡 恒雄

